



はまごう かおり 観音寺小だより 「浜栲の香」

第 1 5 号
観音寺市立
観音寺小学校

HP: <http://kanonji-es.city-kanonji.ed.jp>

（お願い）これからの行事について

1月に入って、全国的に感染者が増加する傾向が見られます。今後の学校行事・PTA行事に関しては、状況に応じて対応する予定です。

○授業参観 1/29(土)

県感染症対策レベルが、レベル3になりそうであれば、中止にする予定です。今年度は、これまで2回授業参観を実施したので、延期する予定はありません。

○大会・演奏会の参加（運動・音楽クラブ）

上記同様、レベル3の場合は不参加の予定です。但し、主催者側の感染症対策を受けて最終決定をします。

○入学説明会 1/26(水)

新入生と1年生の交流は中止とし、保護者に対して、短時間で説明・事務手続き。

○PTA本部役員会 1/20(木)、評議員会 2/18(金)

感染状況を見て、評議員会は書面決議に変更する場合があります。その場合、本部役員会の開催時期を変更します。



「三学期始業式・校長の話より（抜粋）」
（前略）「二年の計は元旦にあり」と同じように考えて、「三学期の計は始業式にあり」。三学期のめあてを、スタートの日である始業式の日にもつことは大切なことです。ぜひ、しっかりと志をもつてスタートしましょう。
自分で立てた志を、達成するために大切なポイントとを、寅年に関係する事柄や言葉をもとに話したいと思います。三つあります。まず、一つ目のポイントです。寅年は、十二支の中で3番目でしたね。「ね、うし、とら」は漢字だと「子、丑、寅」と書きます。これは、動物の名前だけでなく、植物が育つ様子も表しています。子は、たねを植え、丑は、土の中で芽が出る前の様子、そして、寅は、春が来て芽や根が伸びはじめます。そう考えると、寅年は、チャンスの年と考えられます。そして、2022年、令和4年は、寅年の中でも、「五黄の寅年」といいます。これは、一年一年を12の干支で表す以外に、9つの星でも表したりします。2022年は、その中の一つ、五黄土星という年になり、寅年と合わせて、五黄と寅年となるのです。36年に一度しかありません。そして五黄の寅年は、寅年の中でもとくに運がいい大チャンスの年といえます。
二つ目のポイントです。「虎視眈々」という難しい言葉聞いたことがあるでしょうか？これは、虎が鋭い目で、獲物をじっと見て、チャンスを待っている様子です。これを、みなさんに当てはめると、チャンスのタイミングをしっかりと見て、タイミングをのがさずに、チャレンジすることが大切ということになります。
最後、三つ目のポイントです。これも、虎という文字を使った難しい言葉です。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」。この意味は、貴重な虎の子をつかまえようと思つたら、怖がることなく、虎の穴、つまり虎のすみかに入らないといけない、ということなんです。これも、みなさんに当てはめてみましょう。チャンスがあっても、失敗することを気にしてチャレンジしなければ、成功することはない。失敗をおそれることなくチャレンジしようということなんです。
もう一度、志を達成するための三つのポイントを整理してみましょう。「五黄の寅年」：今年はずっとチャンスがあります。「虎視眈々」：チャンスをのがさず、虎穴に入らずんば虎子を得ず」：失敗をおそれずにチャレンジしましょう。
この3つのポイントを大切に、3学期をスタートするみなさんの合言葉をトラという言葉を使って決めたいと思います。「レッツ・トライ！」。意味は、「まずは、やってみよう！」ということなんです。今日から自分の志に向けて、レッツ・トライの一年、そして三学期にしていきましょう。



旧年中は、感染予防対策を行いながら実施してきた、本校教育活動に御理解・御協力いただきましてありがとうございます。今後も、安全・安心を一番に考え、状況に応じた対策を講じ、その中でも、子どもたちの笑顔を大切にすることを、職員一同心掛けていきたいと思っております。三学期もよろしくお願いいたします。



明けまして おめでとうございます 三学期です